

イエスの刑場への道・十字架上の死 四福音書比較

マタイ 27 章	マルコ 15 章	ルカ 23 章	ヨハネ 18-19 章
<p>◆十字架につけられる</p> <p>32 兵士たちは出て行くと、シモンという名前のキレネ人に出会ったので、イエスの十字架を無理に担がせた。</p> <p>33 そして、ゴルゴタという所、すなわち「されこうべの場所」に着くと、</p> <p>34 苦いものを混ぜたぶどう酒を飲ませようとしたが、イエスはなめただけで、飲もうとされなかった。</p> <p>35 彼らはイエスを十字架につけると、くじを引いてその服を分け合い、</p> <p>36 そこに座って見張りをしていた。</p> <p>37 イエスの頭の上には、「これはユダヤ人の王イエスである」と書いた罪状書きを掲げた。</p> <p>38 折から、イエスと一緒に二人の強盗が、一人は右にもう一人は左に、十字架につけられていた。</p> <p>39 そこを通りかかった人々は、頭を振りながらイエスをののしって、</p> <p>40 言った。「神殿を打ち倒し、三日で建てる者、神の子なら、自分を救ってみろ。そして十字架から降りて来い。」</p> <p>41 同じように、祭司長たちも律法学者たちや長老たちと一緒に、イエスを侮辱して言った。</p> <p>42 「他人は救ったのに、自分は救えない。イスラエルの王だ。今すぐ十字架から降りるがいい。そうすれば、信じてやろう。」</p> <p>43 神に頼っているが、神の御心ならば、今すぐ救ってもらえ。『わたしは神の子だ』と言っていたのだから。」</p> <p>44 一緒に十字架につけられた強盗たちも、同じようにイエスをののしった。</p>	<p>◆十字架につけられる</p> <p>21 そこへ、アレクサンドロとルフォスとの父でシモンというキレネ人が、田舎から出て来て通りかかったので、兵士たちはイエスの十字架を無理に担がせた。</p> <p>22 そして、イエスをゴルゴタという所——その意味は「されこうべの場所」——に連れて行った。</p> <p>23 没薬を混ぜたぶどう酒を飲ませようとしたが、イエスはお受けにならなかった。</p> <p>24 それから、兵士たちはイエスを十字架につけて、その服を分け合った、だれが何を取るかをくじ引きで決めてから。</p> <p>25 イエスを十字架につけたのは、午前九時であった。</p> <p>26 罪状書きには、「ユダヤ人の王」と書いてあった。</p> <p>27 また、イエスと一緒に二人の強盗を、一人は右にもう一人は左に、十字架につけた。</p> <p>†</p> <p>29 そこを通りかかった人々は、頭を振りながらイエスをののしって言った。「おやおや、神殿を打ち倒し、三日で建てる者、</p> <p>30 十字架から降りて自分を救ってみろ。」</p> <p>31 同じように、祭司長たちも律法学者たちと一緒にになって、代わる代わるイエスを侮辱して言った。「他人は救ったのに、自分は救えない。」</p> <p>32 メシア、イスラエルの王、今すぐ十字架から降りるがいい。それを見たら、信じてやろう。」一緒に十字架につけられた者たちも、イエスをののしった。</p>	<p>◆十字架につけられる</p> <p>26 人々はイエスを引いて行く途中、田舎から出て来たシモンというキレネ人を捕まえて、十字架を背負わせ、イエスの後ろから運ばせた。</p> <p>27 民衆と嘆き悲しむ婦人たちが大きな群れを成して、イエスに従った。</p> <p>28 イエスは婦人たちの方を振り向いて言われた。「エルサレムの娘たち、わたしのために泣くな。むしろ、自分と自分の子供たちのために泣け。」</p> <p>29 人々が、『子を産めない女、産んだことのない胎、乳を飲ませたことのない乳房は幸いだ』と言う日が来る。</p> <p>30 そのとき、人々は山に向かっては、『我々の上に崩れ落ちてくれ』と言い、丘に向かっては、『我々を覆ってくれ』と言い始める。</p> <p>31 『生の木』さえこうされるのなら、『枯れた木』はいったいどうなるのだろうか。』</p> <p>32 ほかに、二人の犯罪人が、イエスと一緒に死刑にされるために、引かれて行った。</p> <p>33 「されこうべ」と呼ばれている所に来ると、そこで人々はイエスを十字架につけた。犯罪人も、一人は右に一人は左に、十字架につけた。</p> <p>34 [そのとき、イエスは言われた。「父よ、彼らをお赦しください。自分が何をしているのか知らないのです。』人々はくじを引いて、イエスの服を分け合った。</p> <p>35 民衆は立って見つめていた。議員たちも、あざ笑って言った。「他人を救ったのだ。もし神からのメシアで、選ばれた者なら、自分を救うがよい。」</p> <p>36 兵士たちもイエスに近寄り、酸いぶどう酒を突きつけながら侮辱して、</p> <p>37 言った。「お前がユダヤ人の王なら、自分を救ってみろ。」</p> <p>38 イエスの頭の上には、「これはユダヤ人の王」と書いた札も掲げてあった。</p> <p>39 十字架にかけられていた犯罪人の一人が、イエスをののしった。「お前はメシアではないか。自分自身と我々を救ってみろ。」</p> <p>40 すると、もう一人の方がたしなめた。「お前は神をも恐れないのか、同じ刑罰を受けているのに。」</p> <p>41 我々は、自分のやったことの報いを受けているのだから、当然だ。しかし、この方は何も悪いことをしていない。」</p> <p>42 そして、「イエスよ、あなたの御国においてなるときには、わたしを思い出してください」と言った。</p> <p>43 するとイエスは、「はっきり言っておくが、あなたは今日わたしと一緒に楽園にいる」と言われた。</p>	<p>◆十字架につけられる</p> <p>こうして、彼らはイエスを引き取った。</p> <p>17 イエスは、自ら十字架を背負い、</p> <p>いわゆる「されこうべの場所」、すなわちヘブライ語でゴルゴタという所へ向かわれた。</p> <p>18 そこで、彼らはイエスを十字架につけた。また、イエスと一緒にほかの二人をも、イエスを真ん中にして両側に、十字架につけた。</p> <p>19 ピラトは罪状書きを書いて、十字架の上に掛けた。それには、「ナザレのイエス、ユダヤ人の王」と書いてあった。</p> <p>20 イエスが十字架につけられた場所は都に近かったので、多くのユダヤ人がその罪状書きを読んだ。それは、ヘブライ語、ラテン語、ギリシア語で書かれていた。</p> <p>21 ユダヤ人の祭司長たちがピラトに、『「ユダヤ人の王」と書かず、『この男は「ユダヤ人の王」と自称した』と書いてください』と言った。</p> <p>22 しかし、ピラトは、「わたしが書いたものは、書いたままにしておけ」と答えた。</p> <p>23 兵士たちは、イエスを十字架につけてから、その服を取り、四つに分け、各自に一つずつ渡すようにした。下着も取って見たが、それには縫い目がなく、上から下まで一枚織りであった。</p> <p>24 そこで、「これは裂かないで、だれのものになるか、くじ引きで決めよう」と話し合った。それは、「彼らはわたしの服を分け合い、わたしの衣服のことでくじを引いた」という聖書の言葉が実現するためであった。兵士たちはこのとおりにしたのである。</p> <p>25 イエスの十字架のそばには、その母と母の姉妹、クロバの妻マリアとマグダラのマリアとが立っていた。</p> <p>26 イエスは、母とそのそばにいる愛する弟子を見て、母に、「婦人よ、御覧なさい。あなたの子です」と言われた。</p> <p>27 それから弟子に言われた。「見なさい。あなたの母です。」そのときから、この弟子はイエスの母を自分の家に引き取った。</p>
<p>◆イエスの死</p> <p>45 さて、昼の十二時に、全地は暗くなり、それが三時まで続いた。</p> <p>46 三時ごろ、イエスは大声で叫ばれた。「エリ、エリ、レマ、サバクタニ。」これは、「わが神、わが神、なぜわたしをお見捨てになったのですか」という意味である。</p> <p>47 そこに居合わせた人々のうちには、これを聞いて、「この人はエリヤを呼んでいる」と言う者もいた。</p> <p>48 そのうちの一人が、すぐに走り寄り、海綿を取って酸いぶどう酒を含ませ、葦の棒に付けて、イエスに飲ませようとした。</p> <p>49 ほかの人々は、「待て、エリヤが彼を救いに来るかどうか、見ていよう」と言った。</p> <p>50 しかし、イエスは再び大声で叫び、息を引き取られた。</p> <p>51 そのとき、神殿の垂れ幕が上から下まで真っ二つに裂け、地震が起こり、岩が裂け、</p> <p>52 墓が開いて、眠りについていて多くの聖なる者たちの体が生き返った。</p> <p>53 そして、イエスの復活の後、墓から出て来て、聖なる都に入り、多くの人々に現れた。</p> <p>54 百人隊長と一緒にイエスの見張りをしていた人たちは、地震やいろいろの出来事を見て、非常に恐れ、「本当に、この人は神の子だった」と言った。</p> <p>55 またそこでは、大勢の婦人たちが遠くから見守っていた。この婦人たちは、ガリラヤからイエスに従って来て世話をしていた人々である。</p> <p>56 その中には、マグダラのマリア、ヤコブとヨセフの母マリア、ゼベダイの子らの母がいた。</p>	<p>◆イエスの死</p> <p>33 昼の十二時になると、全地は暗くなり、それが三時まで続いた。</p> <p>34 三時にイエスは大声で叫ばれた。「エロイ、エロイ、レマ、サバクタニ。」これは、「わが神、わが神、なぜわたしをお見捨てになったのですか」という意味である。</p> <p>35 そばに居合わせた人々のうちには、これを聞いて、「そら、エリヤを呼んでいる」と言う者がいた。</p> <p>36 ある者が走り寄り、海綿に酸いぶどう酒を含ませて葦の棒に付け、「待て、エリヤが彼を降ろしに来るかどうか、見ていよう」と言いながら、イエスに飲ませようとした。</p> <p>37 しかし、イエスは大声を出して息を引き取られた。</p> <p>38 すると、神殿の垂れ幕が上から下まで真っ二つに裂けた。</p> <p>39 百人隊長がイエスの方を向いて、そばに立っていた。そして、イエスがこのように息を引き取られたのを見て、「本当に、この人は神の子だった」と言った。</p> <p>40 また、婦人たちも遠くから見守っていた。その中には、マグダラのマリア、小ヤコブとヨセフの母マリア、そしてサロメがいた。</p> <p>41 この婦人たちは、イエスがガリラヤにおられたとき、イエスに従って来て世話をしていた人々である。なおそのほかにも、イエスと共にエルサレムへ上って来た婦人たちが大勢いた。</p>	<p>◆イエスの死</p> <p>44 既に昼の十二時ごろであった。全地は暗くなり、それが三時まで続いた。</p> <p>45 太陽は光を失っていた。神殿の垂れ幕が真ん中から裂けた。</p> <p>46 イエスは大声で叫ばれた。「父よ、わたしの霊を御手にゆだねます。」こう言って息を引き取られた。</p> <p>47 百人隊長はこの出来事を見て、「本当に、この人は正しい人だった」と言って、神を賛美した。</p> <p>48 見物に集まっていた群衆も皆、これらの出来事を見て、胸を打ちながら帰って行った。</p> <p>49 イエスを知っていたすべての人たちと、ガリラヤから従って来た婦人たちとは遠くに立って、これらのことを見ていた。</p>	<p>◆イエスの死</p> <p>28 この後、イエスは、すべてのことが今や成し遂げられたのを知り、「渴く」と言われた。こうして、聖書の言葉が実現した。</p> <p>29 ここには、酸いぶどう酒を満した器が置いてあった。人々は、このぶどう酒をいっぱい含ませた海綿をヒソプに付け、イエスの口もとに差し出した。</p> <p>30 イエスは、このぶどう酒を受けると、「成し遂げられた」と言い、頭を垂れて息を引き取られた。</p> <p>◆イエスのわき腹を槍で突く</p> <p>31 その日は準備の日で、翌日は特別の安息日であったので、ユダヤ人たちは、安息日に遺体を十字架の上に残しておかないために、足を折って取り降ろすように、ピラトに願い出た。</p> <p>32 そこで、兵士たちが来て、イエスと一緒に十字架につけられた最初の男と、もう一人の男との足を折った。</p> <p>33 イエスのところに来てみると、既に死んでおられたので、その足は折らなかった。</p> <p>34 しかし、兵士の一人が槍でイエスのわき腹を刺した。すると、すぐ血と水とが流れ出した。</p> <p>35 それを目撃した者が証しており、その証しは真実である。その者は、あなたがたにも信じさせるために、自分が真実を語っていることを知っている。</p> <p>36 これらのことが起こったのは、「その骨は一つも砕かれない」という聖書の言葉が実現するためであった。</p> <p>37 また、聖書の別の所に、「彼らは、自分たちの突き刺した者を見る」とも書いてある。</p>